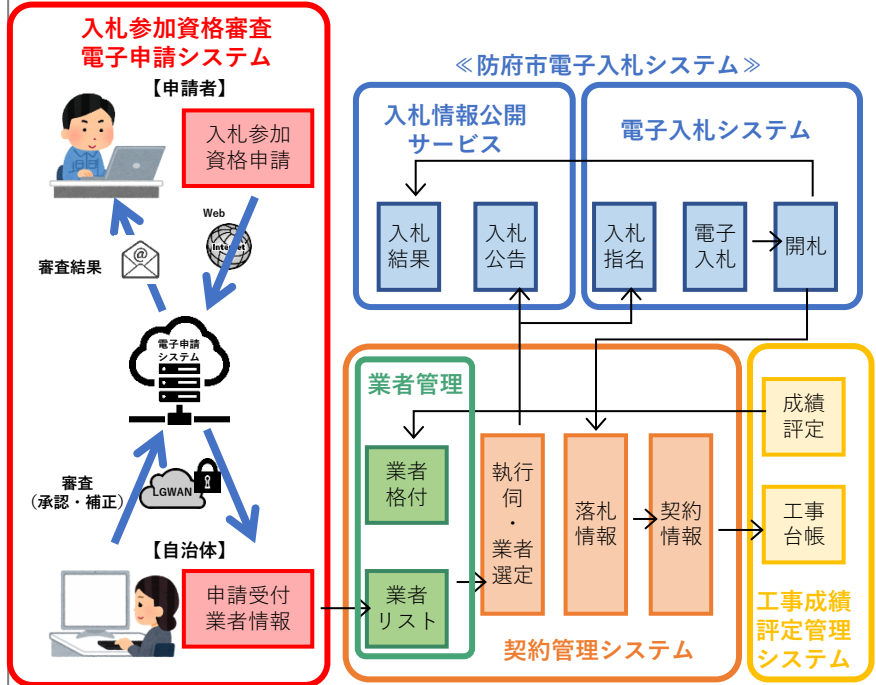


防府市入札契約関連事務システム導入事業（令和7年度実施）

事業概要

総務省通知を踏まえ、入札参加資格審査申請の電子申請システムを構築することにより、事業者の事務負担の軽減及び利便性の向上を図る。併せて契約管理・工事成績評価管理システムを導入することにより、業者情報と契約案件の一元管理を行う。また「防府市電子入札システム」と連携させることにより、契約や入札のプロセスが明確になり、公正な競争環境が整う。

- 【入札参加資格審査電子申請システム】**
- オンライン上での入札参加資格審査申請を可能とすることで、書類提出の手間が削減され、事業者の負担が軽減。
- 【契約管理・工事成績評価管理システム】**
- 手続きのデジタル化により、承認・決裁のスピードが向上し、新規事業者が迅速に入札に参加できる。
 - 評価基準が明確になり、恣意的な評価のリスクが低減する。
 - 適正な評価がされることで、優良な事業者の選定が促進され、競争力の向上につながる。
 - デジタル化により小規模事業者でも公平に競争できる環境が整う。
- 具体サービス**

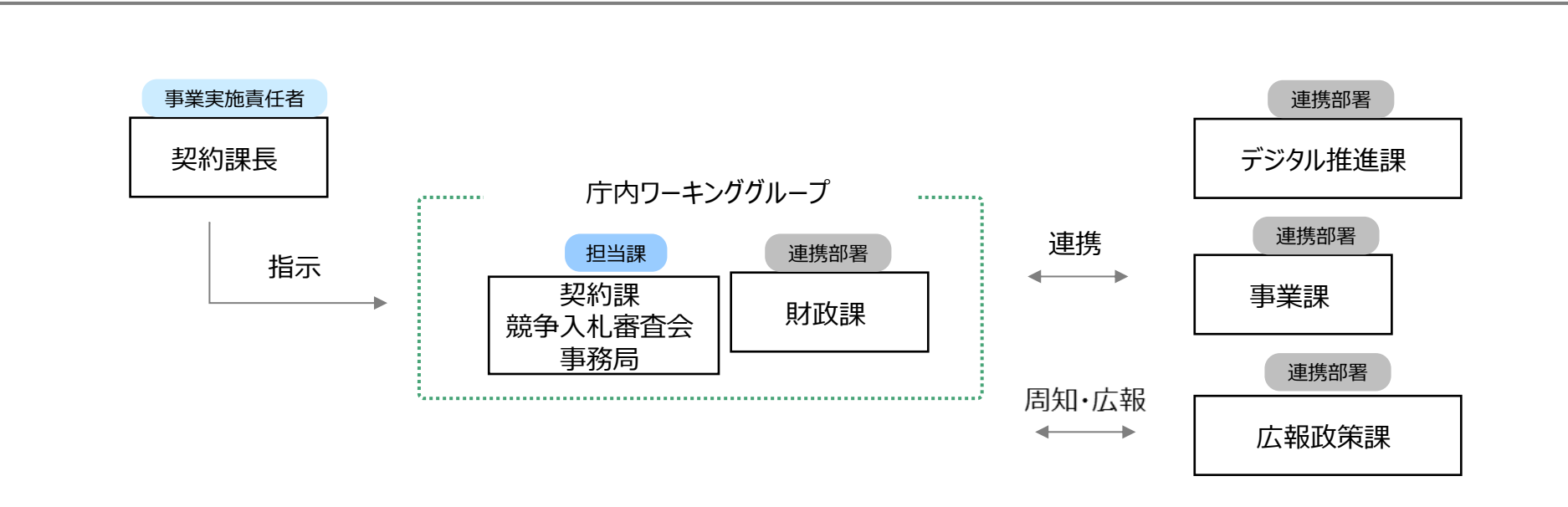


具体的使途（経費内訳）

交付対象事業費（円）	18,040,000円		
項目	金額 (単位：円)	実施相手 (委託先、補助金・負担金の対象者、 施工業者等)	支出方法 (委託、補助金・負 担金、工事請負)
新WEBシステム契約管理、業者管理機能の移行	5,500,000	扇精光ソリューションズ（株）	委託
予算管理機能カスタマイズ	550,000	扇精光ソリューションズ（株）	委託
経審データ取込機能カスタマイズ	550,000	扇精光ソリューションズ（株）	委託
システム設定・設置、研修費等	2,750,000	扇精光ソリューションズ（株）	委託
工事成績評定管理システム導入	2,200,000	扇精光ソリューションズ（株）	委託
山口県工事成績評定及び帳票対応	1,100,000	扇精光ソリューションズ（株）	委託
入札参加資格審査電子申請システム導入	880,000	扇精光ソリューションズ（株）	委託
入札参加資格審査各業種出力対応	550,000	扇精光ソリューションズ（株）	委託
防府市入札・契約管理システム サーバ機器購入	3,960,000	扇精光ソリューションズ（株）	委託

実施体制

■ 庁内の推進体制

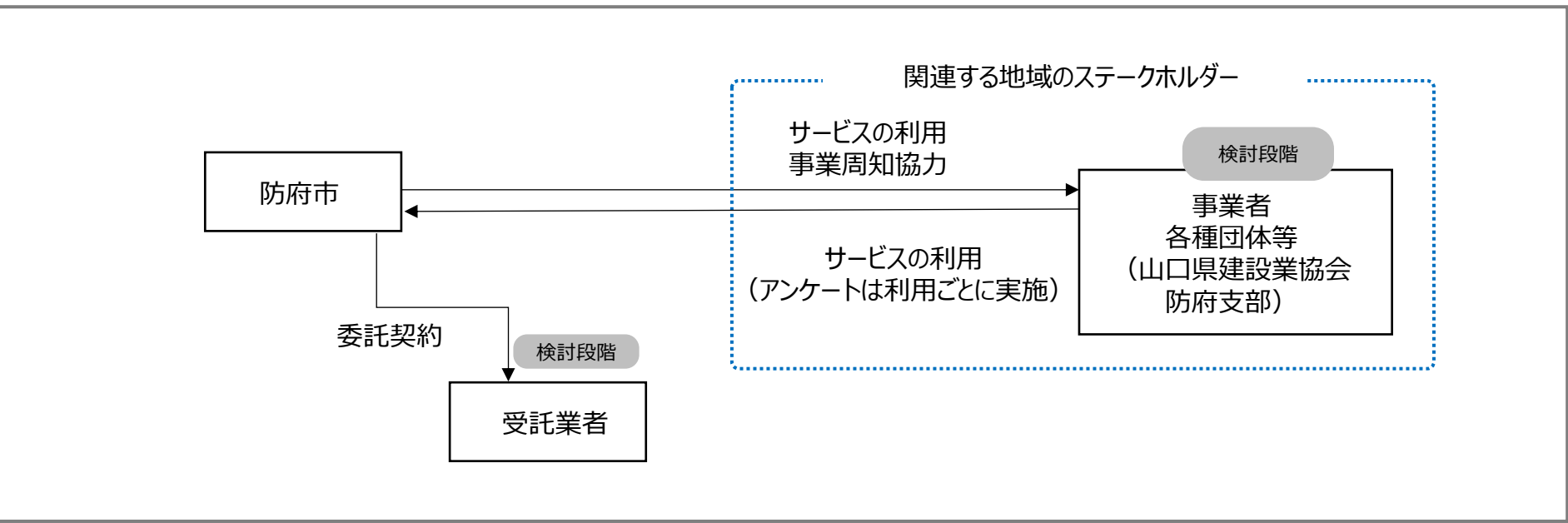


【各課室の役割】

名称	名称	役割
事業実施責任者	契約課長	<ul style="list-style-type: none"> 事業全体のマネージメント・進捗管理
事業担当課	契約課	<ul style="list-style-type: none"> システムの調達、関連部署との調整、業務フローの検討 広報、アンケート・意見徴収等の実施
連携部署	財政課	<ul style="list-style-type: none"> 財政面での検討
連携部署	デジタル推進課	<ul style="list-style-type: none"> システム構築に係るネットワーク・セキュリティ分野を所管
連携部署	事業課	<ul style="list-style-type: none"> システム構成の検討
連携部署	広報政策課	<ul style="list-style-type: none"> 周知・広報

実施体制

■ 事業推進体制



名称	役割
防府市	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画の立案 事業全般の管理・統括
受託業者	<ul style="list-style-type: none"> システムの構築、サービスの提供 システムの保守・管理
事業者 各種団体等	<ul style="list-style-type: none"> サービスの利用 事業周知協力

名称	役割

検証効果の結果 (1/3)

アウトプット指標 (活動指標)

KPI①	入札参加資格審査申請における電子申請の割合	種別	アウトプット	単位	%
KPIの概要、測定方法		入札参加資格審査申請全体件数のうち、電子申請システムを用いた件数の割合。システムの管理ツールを用いて集計する。※2025年度は周知期間も含めて7割を想定			
事業成果等の計測に適する理由		申請の電子化のニーズを測るために、本事業の成果測定に適している。			
2025年度末【目標値】		2026年度末【目標値】		2027年度末【目標値】	
70		85		95	
2025年度末【実績値】		2026年度末【実績値】		2027年度末【実績値】	
100		-		-	
直近のKPIについて 【KPI「達成」の場合】達成のための取組み内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【KPI「未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組		市広報に防府市ホームページのwebフォームのURLのリンク先を掲載し、事業者に周知を図ったことや、電子での参加申請書類は紙の提出ではなく電子での参加申請について周知を徹底したことがKPI達成に繋がった。 2025年度も引き続きKPI達成を達成するために、今後も同様の周知を市広報やホームページで行うとともに、様々な機会や媒体を活用し、関連団体等の協力も得ながらサービスの周知を図る。また、アンケートの結果を参考に利便性を向上されるように改善を図る。			

KPI②	契約管理・工事成績評価管理システムの案件登録件数	種別	アウトプット	単位	件
KPIの概要、測定方法		契約管理・工事成績評価管理システム年間の全契約案件数のうち、システムを用いた案件数の合計。システムの管理ツールを用いて集計する。			
事業成果等の計測に適する理由		システム利用件数を知ること、利用状況を分析し運用方法の変更やシステム改修の必要性を判断する材料とする。			
2025年度末【目標値】		2026年度末【目標値】		2027年度末【目標値】	
250		1000		1250	
2025年度末【実績値】		2026年度末【実績値】		2027年度末【実績値】	
487		-		-	
直近のKPIについて 【KPI「達成」の場合】達成のための取組み内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【KPI「未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組		導入初年度であったが、利便性の高いシステムでもあり、案件数が想定より多かったものと思われる。今後も引き続きシステムの利便性の改善のために、利用者から寄せられる意見を参考にベンダーと密に連携をとりあう。 2026年度末のKPI達成に向け、2026年度内にさらなる協議を行いながら、今後とも関係各所に周知を図る。また、研修も必要に応じ実施し、利用者からの意見を取り入れ積極的な課題把握に努め、マニュアル等の整備も進める。			

検証効果の結果 (2/3)

アウトカム指標 (成果指標)

KPI①	入札参加資格審査電子申請システムの満足度	種別	アウトプット	単位	ポイント
KPIの概要、測定方法	入札参加資格審査電子申請システムを利用した人の5段階評価満足度の平均値。 入札参加資格審査電子申請システム後にアンケート画面を表示し、利用者に入力してもらうことで測定する。 ※実装された各機能や使い勝手等に係る項目についてもアンケートに含める				
事業成果等の計測に適する理由	電子申請システムを利用し満足した人数が多ければ多いほど、申請者の時間と労力、経費の削減に効果があると考えられるため。また、アンケート画面にて、任意で不満な点を記入してもらうことで、サービスの改善を図る。				
	2025年度末【目標値】		2026年度末【目標値】		2027年度末【目標値】
	3.5		4		4.2
	2025年度末【実績値】		2026年度末【実績値】		2027年度末【実績値】
	3.7		-		-
直近のKPIについて 【KPI「達成」の場合】達成のための取組み内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【KPI「未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組	ユーザーフレンドリーな入力フォームとするため、事業者選定の方法としてプロポーザル方式を採用した。経験と実績のあるベンダーにシステムの作成を依頼し、利用者の満足度向上のため、ベンダーと何度も協議を実施した。 アンケートで2番目に多かったものが「普通」という回答だった。2026年度末のKPI達成に向け、2026年度内にさらなる協議を行いながら、アンケートの自由記述欄によせられた声を参考に「使いやすい」の回答を増やすためのシステムの改善を図る。				

KPI②	入札参加資格審査申請に係る時間（事業者）	種別	アウトカム	単位	時間
KPIの概要、測定方法	入札参加資格審査申請において、申請書の作成から添付資料の準備、申請書類の提出（持参・郵送）に要する時間。電子申請システムを利用することにより、これまでの紙媒体での提出の場合と比較する。 申請～処理完了までの時間をアンケート調査し、平均値を算出する。手続きにおける所要時間が長いことを地域課題として掲げており、課題を解決しているかを判断するための適切な指標であるため。目標値は同システムを導入している他市のデータを参考に作成した。				
事業成果等の計測に適する理由	手続きにおける所要時間が長いことを地域課題として掲げており、課題を解決しているかを判断するための適切な指標であるため。				
	2025年度末【目標値】		2026年度末【目標値】		2027年度末【目標値】
	4		1		1
	2025年度末【実績値】		2026年度末【実績値】		2027年度末【実績値】
	1.1		-		-
直近のKPIについて 【KPI「達成」の場合】達成のための取組み内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【KPI「未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組	経験と実績のあるベンダーにシステムの作成を依頼したため、ユーザーフレンドリーな入力フォームとなっていることが入力時間の目標達成に効果があったと考えられる。業者の選定に入札ではなくプロポーザルを実施したこともKPI達成に繋がった。 アンケートで入札参加資格審査申請に係る時間が1番長かったのが「240分」という回答だった。2026年度末のKPI達成に向け、2026年度内にさらなる協議を行いながら、アンケートの自由記述欄によせられた声を参考にさらなるシステムの改善を図る。				

検証効果の結果 (3/3)

KPI⑥	契約管理・工事成績評価管理システム導入後の満足度	種別	アウトカム	単位	ポイント
KPIの概要、測定方法	契約管理・工事成績評価管理システムの導入後の評価方法等事業主の5段階評価満足度の平均値。 年度末に事業者アンケートを入力してもらうことで測定する。 入札参加資格審査電子申請システムを利用した人の5段階評価満足度の平均値。 入札参加資格審査電子申請システム後にアンケート画面を表示し、利用者に入力してもらうことで測定する。 ※実装された各機能や使い勝手等に係る項目についてもアンケートに含める				
事業成果等の計測に適する理由	適正な評価方法等に満足した人数が多ければ多いほど、効果があると考えられるため。また、アンケート画面にて、任意で不満な点を記入してもらうことで、サービスの改善を図る。				
	2025年度末【目標値】		2026年度末【目標値】		2027年度末【目標値】
	3.5		4		4
	2025年度末【実績値】		2026年度末【実績値】		2027年度末【実績値】
	3		4		4
直近のKPIについて 【KPI「達成」の場合】達成のための取組み内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【KPI「未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組	2025年度は運用期間が3か月間と短かったため、事業者からのアンケートの回答結果が「普通」以上の評価にならなかったと思われる。サービス実装でとどまってしまうことがKPIを達成できなかった大きな理由の1つと考えられる。 2026年度末のKPI達成に向け、2026年度の1年間使用することでより精度の高いアンケート結果を集計する。必要に応じて研修を開催したりマニュアルを整備して利用の機会を増やすことで満足度の向上に努める				